

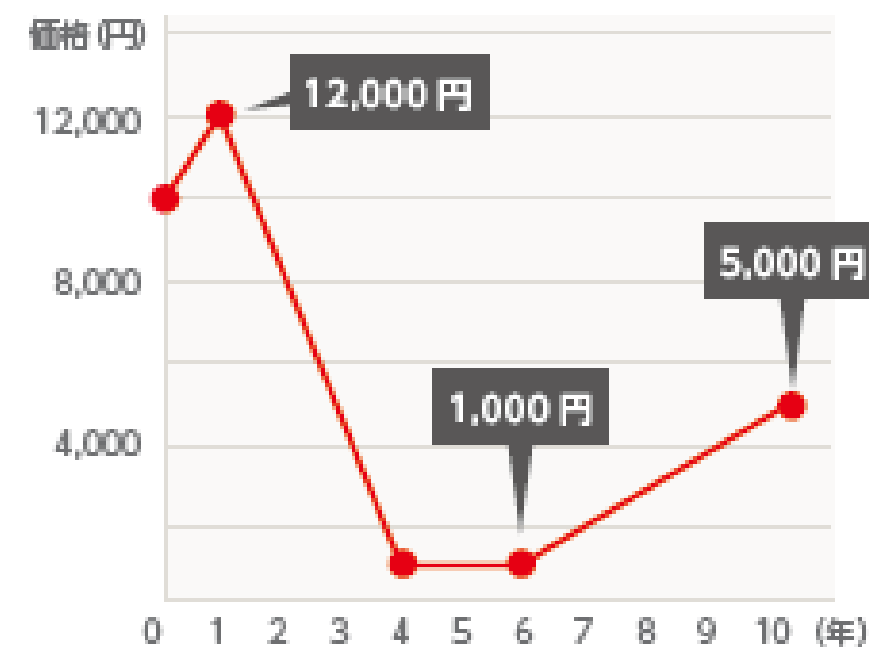
①時間分散の説明



Q. 1

毎月10,000円の積立投資を10年間継続します。スタート時の価格は10,000円。投資開始後から投資対象の価格は12,000円まで上昇した後、4年目に1,000円まで下落。6年後から回復し10年目に5,000円まで戻った場合の評価額は？

投資元本120万円



A 約72万円

B 約105万円

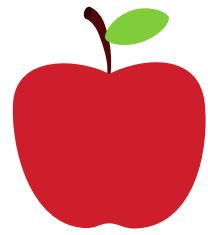
C 約263万円



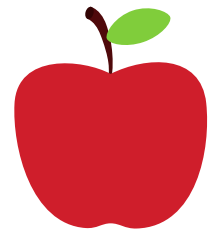
不思議だと思いませんか？

ポイントは3つです！

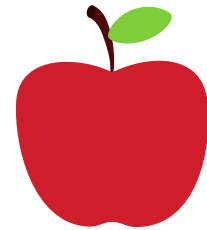
100円



100円



50円



100コ

200コ

100コ

100コ

200コ

100コ

①価格が下がれば買える量が増える

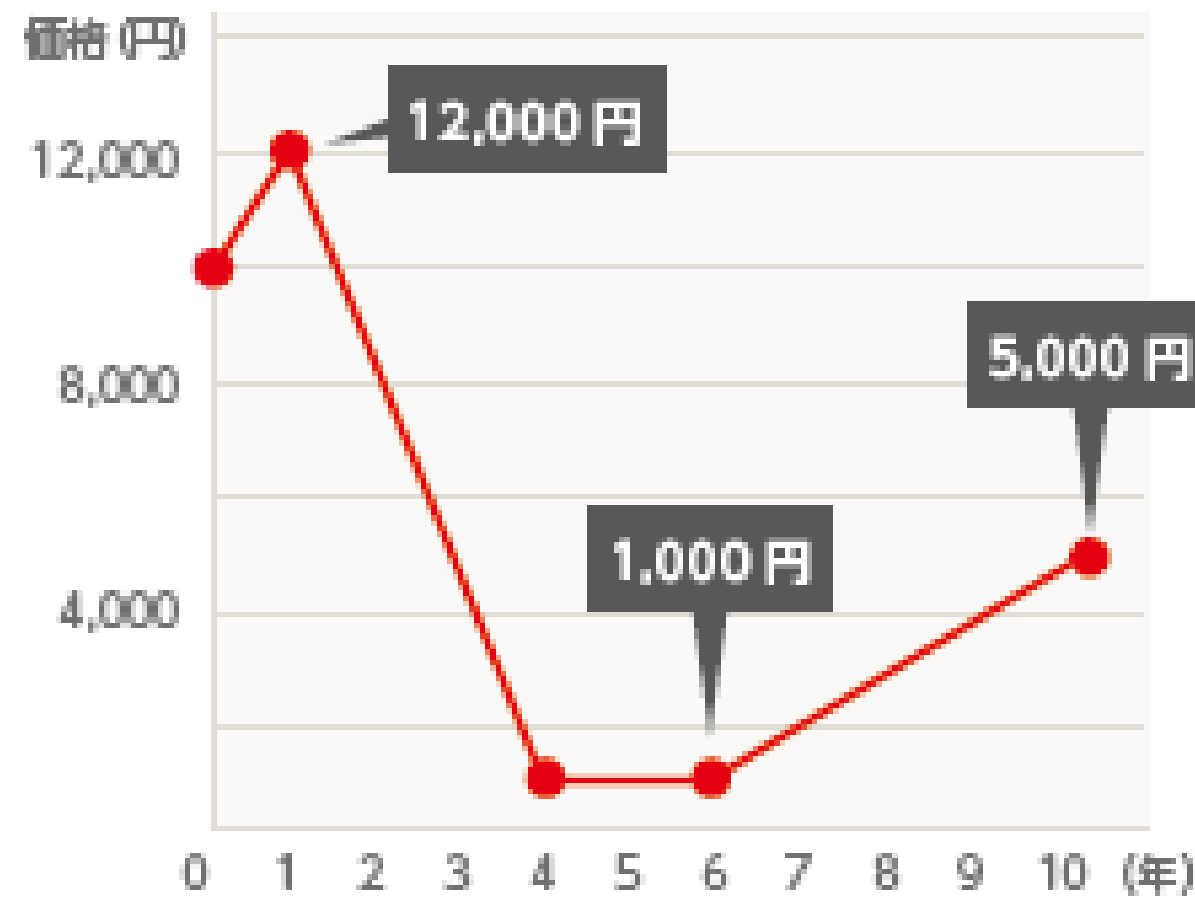
②量は積み上がる（減らない）

③投資の成績 = 口数 × 価格



毎月10,000円の積立投資を10年間継続します。スタート時の価格は10,000円。投資開始後から投資対象の価格は12,000円まで上昇した後、4年目に1,000円まで下落。6年後から回復し10年目に5,000円まで戻った場合の評価額は？

投資元本120万円



- ? ?
- A 約72万円
 - B 約105万円
 - C 約263万円
- ?

$$526\text{個} \times 5,000\text{円} = 263\text{万円}$$

ドルコスト平均法



投資の成績 = 口数 × 価格



つまり、価格が下がっても上がってもどちらでもOK！

ドルコスト平均法のポイント！



①価格が下がると量が増える！

②量は積み上がる（減らない）

③投資の成績 = 口数 × 価格

ドルコスト平均法 の注意点！



手書きのりんごプレゼン動画

- ① 価格が下がったときに辞めない
- ② 終盤は安定する資産へ変更する
- ③ 始めないことの損失（機会損失）

